

令和3年度事業報告

項 目	内 容
電話・面接相談	<ul style="list-style-type: none"> ○ 電話相談 犯罪等の被害者及びその家族又は遺族（以下「犯罪被害者等」という。）からの相談を職員又は被害者支援ボランティアが専用電話（0120-43-0874）等で受理し対応した。 ○ 面接相談 面接相談を希望し又は電話相談の結果、面接相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、職員等がセンター面接相談室などで面接し対応した。 ○ 電話・面接相談の受理状況 受理総数 146件（相談実人数 44名） 相談手段～電話112件、面接30件、文書3件、メール1件 居住地域～東部80件、中部21件、西部32件、県外13件 主な内容～性犯罪、ストーカー、交通事故、その他 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ カウンセリング及び医療的措置の支援 メンタルケアを必要とする犯罪被害者等に専門家（精神科医、臨床心理士）を紹介した。 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 法的救済支援 法律専門家による相談が必要と認められる犯罪被害者等に対して、協力弁護士を紹介した。（3件）
直接的支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 役務の提供等 犯罪被害者等の精神的負担の軽減を目的として、その要望に応じて付添い、送迎等の支援を行った。 支援実施総数 14件（支援実人数 5名） 警察付添 3件、弁護士事務所付添 3件、裁判所付添 1件 送迎等 7件 <hr style="border-top: 1px dashed black;"/> <ul style="list-style-type: none"> ○ 緊急避難場所の提供 3件
犯罪被害者等給付金申請補助	<ul style="list-style-type: none"> ○ 犯罪被害者等給付金の申請補助 なし
自助グループに対する支援	<ul style="list-style-type: none"> ○ 場所提供等 犯罪被害者自助グループ「なごみの会」に対し、定例集会時の会場準備、資料・情報提供等の支援を行った。（3回） ○ 「いのちのパネル展」の支援 「なごみの会」が市役所、講演会場、警察施設等で開催する「いのちのパネル展」の設置準備等の支援を行った。（8回） ○ 講演会における支援 依頼のあった地域人権研修会での講演（2回）
広報・啓発活動	<ul style="list-style-type: none"> ○ 講演会等の開催 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「被害者支援を考える公開講座」を開催

	<ul style="list-style-type: none"> ・ 6月16日 倉吉未来中心セミナールーム（参加者25名）において、県外講師によるリモート講演を行い、県下全市町村の犯罪被害者等支援条例制定への促進に向けた市町村担当者を含めた支援従事者を対象にした講演会を行った。 ・ 11月22日「鳥取県被害者支援フォーラム」（とりぎん文化会館小ホール）は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。 ・ 1月26日「被害者支援を考える講演会」（とりぎん文化会館）の開催準備に取り掛かっていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を延期した。 ・ 「命の大切さを学ぶ教室」を開催 5回5校実施（高校3校、中学校2校） リモート講演も取り入れ、犯罪被害者ご遺族の講演を通じ中高生等に対して命の大切さの意識高揚を図った。 ○ ホームページによる広報活動の推進 ホームページを更新することにより、支援センターの組織体制、業務の内容、活動状況、相談窓口の案内、新着情報等をタイムリーに掲示できるよう改善し、支援センターの利用を広報した。 ○ 機関紙「センターだより」の発行（2回） センターだより第25号（7月）、26号（2月）を発行し、関係機関、賛助会員等へ送付し、センターの事業活動を報告するとともに協力を呼び掛けた。 ○ 街頭広報の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 11月の犯罪被害者週間に併せてJR鳥取駅、日吉津村内及び倉吉市内のショッピングセンターにおいて、県、警察、センター役員、ボランティアが参加して、犯罪被害者支援への協力を呼び掛けた。（4回） ・ 鳥取警察署主催の「被害者支援チャリティーバザーinイオンモール鳥取北」に協働して広報した。（11月27日） ○ 被害者支援講演会等の実施 被害者支援に関する意識の高揚・啓発を推進するため、各関係機関等の研修等に出向き、講演活動を行った。（12回） ○ センター認知度アップを図ることを目的とする鳥取県協働提案連携推進事業（「涙のち 晴れ」プロジェクト）を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・ オリジナル映像、オリジナル楽曲の制作、テレビCMでの放映（18回）、YouTubeやSNSなどを活用して発信。 ・ ポスター（200枚）、チラシ（2,000枚）、啓発用グッズ（ウェットティッシュ2,000個）を作成し県、警察等と協働して広報活用した。
関係機関・団体等との連携	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県外研修会等への参加 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため「全国被害者支援ネットワーク」等が主催する会議やフォーラムにリモートで参加した。中国四国ブロックの会議・研修会は中止になった。 ○ 県内の関係機関との連携強化 被害者支援に係わる警察及び行政機関の会議、研修会等へ出席し意見交換を行うとともに連携等について協議を行った。
被害者支援ボランティアの養成、研	<ul style="list-style-type: none"> ○ 募集活動 「涙のち 晴れ」プロジェクトのオリジナル映像を活用してテ

修	<p>テレビCM用動画を制作し、テレビCMでの放映（18回）、新聞広告の掲載（3回）、チラシ（500枚）を作成しボランティアの募集活動を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 被害者支援ボランティアを2名採用した。 4名の応募者があり、昨年度の応募者1名を加えて採用時養成講座を5回に亘って実施し、最終的に2名を採用した。 ○ 継続研修でスキルアップを図った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ センター主催研修 3回実施（延べ21名参加） ・ 電話相談の待機時間を利用したDVD教材等による自主学習に取り組んだ。 																
財政・体制強化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○ ファンドレイジング活動の推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 全国犯罪被害者支援ネットワークの「ホンデリング・プロジェクト」に参加し、不要本の売却金を寄付していただく活動を実施した。 ・ 「イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン」に参加し、毎月11日にレシート投函を呼び掛けてレシート金額の1%を寄付していただく活動を実施した。 ・ 鳥取県共同募金会のつかいみちを選べる募金助成事業（1月～3月末）に参加し、募金活動を実施した。 ・ 「有限会社 SUNABACOMPANY」様と「有限会社 亀井堂」様のご協力により寄付型商品（犯罪被害者支援商品）の販売売上の一部を寄付していただく活動を実施した。 ・ 賛助会員の維持・拡大と寄付型自動販売機、募金箱の設置拡充に取り組んだ。 <table border="0" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>寄付型自動販売機</td> <td>63台</td> <td>（前年度</td> <td>61台）</td> </tr> <tr> <td>募金箱</td> <td>192か所</td> <td>（前年度</td> <td>198か所）</td> </tr> <tr> <td>寄付</td> <td>団体</td> <td>155団体</td> <td>（前年度 183団体）</td> </tr> <tr> <td></td> <td>個人</td> <td>341名</td> <td>（前年度 368名）</td> </tr> </table> 	寄付型自動販売機	63台	（前年度	61台）	募金箱	192か所	（前年度	198か所）	寄付	団体	155団体	（前年度 183団体）		個人	341名	（前年度 368名）
寄付型自動販売機	63台	（前年度	61台）														
募金箱	192か所	（前年度	198か所）														
寄付	団体	155団体	（前年度 183団体）														
	個人	341名	（前年度 368名）														
組織の運営体制	<ul style="list-style-type: none"> ○ 正会員数：23名 団体 17団体（前年度 18団体） 個人 6名（前年度 8名） ○ 賛助会員数 団体 82団体（前年度 82団体） 個人 169名（前年度 166名） ○ 職員数 常勤職員：2名（事務局） 非常勤職員：3名 ・ 事務局：1名（経理担当） ・ 西部相談所：2名 臨時職員：1名 ○ 支援活動員（ボランティア）登録数 33名 																